

「第30回光物性研究会(2019)」のご案内

First Call for Papers

開催日 : 2019年12月13日(金)、14日(土)
開催場所 : 京都大学 宇治キャンパス (京都府宇治市五ヶ庄)
論文投稿締切日: 2019年10月25日(金) (pdfファイル投稿)
参加登録締切日: 2019年10月28日(月)
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)

研究会の概要:

本研究会は、1990年より始まり、今年で30回目を迎えます。本研究会では、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演とし、一般発表は、特にテーマを設定せず以下の諸課題を中心に広く議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのため、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。また、全てのポスター発表には、ショートプレゼンテーション(3分程度)が付随する予定です。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

テーマ: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス・量子情報・太陽光発電等材料への応用、フォトリソグラフィ、プラズモニクス、メタマテリアル、光マニピュレーション、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

チュートリアル講義: 大学院生、若手研究者を主対象に、光物性の中心テーマに関する解説的講演(90分): 今年度は三澤弘明先生(北海道大学)が「赤外光利用によるグリーンフォトリソグラフィ」(仮題)のタイトルで講演されます。

特別講演: 光物性の先端的な研究に関する講演(60分): 今年度は馬場基彰先生(京都大学)が「光と物質の強結合状態を用いた量子光学の新展開」(仮題)のタイトルで講演されます。

光物性研究会奨励賞: 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待して表彰を行います(受賞件数は発表総数の5%程度: 概ね4~5件)。本賞の受賞対象者は、事前にエントリーの必要があります(詳細はweb上で案内します)。

研究会の情報: <https://sites.google.com/site/hikaribussei/> から“光物性研究会”に入ってください。

直接のURL: <http://phys.ipps.kumamoto-u.ac.jp/HIKARI/index.html>

全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)はwebで行います。

論文集: 論文集を発行し、参加者全員に一部を配布します。論文は各発表4頁です。論文の提出が発表の条件になります。論文はwebにおいてpublic domainに公開します。投稿の際に公開の可否をご指定ください。

論文投稿締切日: 2019年10月25日(金): pdf投稿、キーワードの指定が必要

参加費: 10月28日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000円、学生 3000円

10月29日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000円、学生 4000円

参加費の振り込みについては、webに記載している振込口座をお願いします。

研究会問い合わせ先: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

(組織委員長) 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻 田中耕一郎

e-mail: kochan@scphys.kyoto-u.ac.jp tel: 075-753-3756

組織委員: 石原照也(東北大・院理)、枝松圭一(東北大・通研)、嶽山正二郎(東大・物性研)、秋山英文(東大・物性研)、武田淳(横浜国大・工)、田中耕一郎(組織委員長: 京大・院理)、中暢子(京大・院理)、松田一成(京大・エネ科)、伊藤正(阪大・ナノ教育研究センター)、浅野建一(阪大・院理)、芦田昌明(阪大・院基礎工)、中山正昭(阪市大・院工)、石原一(阪大・院基礎工/阪府大・院工)、内藤裕義(阪府大・院工)、溝口幸司(阪府大・院理)、伊東千尋(和大大・工)、秋元郁子(和大大・工)、喜多隆(神大大・工)、河本敏郎(神大大・理)、赤井一郎(熊大大・パルス研)

実行委員: 田中耕一郎(京大・院理)、松田一成(京大・エネ科)、中暢子(京大・院理)、渡辺雅之(京大・人環)、有川敬(京大・院理)、篠北啓介(京大・エネ科)、内田健人(京大・院理)、猪瀬裕太(京大・院理)